様式2

都市再生整備計画　事後評価シート
上之地区

平成23年3月

埼玉県熊谷市

様式2－1　評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県	市町村名	熊谷市	地区名	上之地区		面積	29.4ha
交付期間	平成18年度～平成22年度	事後評価実施時期	平成22年度	交付対象事業費	730百万円	国費率	0.4	

1）事業の実施状況

			事業名		
当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業		土地区画整理事業、公園、高質空間形成施設、埋蔵文化財発掘調査		
	提案事業		埋蔵文化財発掘調査現地見学会・体験事業、地域交流（安心安全のまちづくり）イベントの開催		
			事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業		公園（上之第2号公園（仮称））	上之第2号公園（仮称）については、用地内の水路移設が現状では困難であることや、一部用地確保について調整が続いているため、計画期間内の目標の達成が困難となった。	1人あたり公園面積の指標に関係するが、数値目標は据え置く。
	提案事業		埋蔵文化財発掘調査	提案事業にあった「埋蔵文化財発掘調査」を、基幹事業である「土地区画整理事業」の中に組み入れた。	埋蔵文化財発掘体験事業参加者数の指標に関係するが、事業内容は当初計画と変更はないため、数値目標は据え置く。
新たに追加した事業	基幹事業		なし	―	―
	提案事業		埋蔵文化財発掘調査見学会・体験事業	提案事業にあった「埋蔵文化財発掘調査」を土地区画整理事業に組み入れた。	なし
交付期間の変更	当　初	平成18年度～平成22年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	なし	
	変　更	なし			

2）都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
指標1	居住者数	人	1,200	H18	1,400	H22		1,305	△	あり		地区内の住宅着工件数が当初の見込みより少なく、目標の達成に至らなかった。	#REF!
										なし	●		
指標2	1人当たり公園面積	㎡/人	0	H18	4.3	H22		0.8	△	あり		上之第2号公園（仮称）の事業進捗が予定通り進まなかったため、目標の達成に至らなかった。	#REF!
										なし	●		
指標3	まちづくりイベント参加者数	人	0	H18	400	H22		60	△	あり	●	イベント開催を通じて安心安全に対する認識が深まるとともに、地域住民間の交流も盛んになり、指標の達成に貢献した。	#REF!
										なし			
指標4	埋蔵文化財発掘体験事業参加者数	人	0	H18	700	H22		1,125	○	あり		埋蔵文化財の見学会等通じて、歴史・文化に触れる機会を提供することができ、指標の達成に貢献した。	なし
										なし			

3）その他の数値指標（当初設定した数値目標以外の指標）による効果発現状況

指　標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数　値 モニタリング	数　値 評価値	目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因（総合所見）	フォローアップ予定時期
その他の数値指標1	宅地として利用可能な土地面積割合	%	43.0	H5				48.5			宅地として利用可能な土地面積割合が増加し、指標の達成に貢献した。また、一部街路の整備により、住環境の快適性と交通利便性の向上が図られた。	#REF!
その他の数値指標2	地域住民のための多目的空間の確保に対する満足度	%	―	―				71.7			土地区画整理事業により、多目的に利用できる空間が確保され、地域住民からの期待が高い。	なし
その他の数値指標3	建築行為等許可申請件数（年間平均）	件	3.3	H17				7.0			土地区画整理事業により、新築等の建築行為許可申請の平均件数が増加し、指標の達成に貢献した。	#REF!

4）定性的な効果発現状況

まちづくりイベント及び埋蔵文化財発掘体験事業の参加者・関係者からは、今後も事業等を継続して欲しいという声が挙げられた。

5）実施過程の評価

	実施内容	実施状況		今後の対応方針等
モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
住民参加プロセス	安心安全のまちづくりイベント 埋蔵文化財発掘調査現地見学会・体験事業	都市再生整備計画に記載し、実施できた	●	・講座形式による防犯教室等の開催を検討するなど、地元の状況を見ながらイベント開催方法を検討する ・今後も埋蔵文化財の発掘調査にあわせて、見学会の継続を行っていく。
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた		
		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した		
		都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった		

様式2－2　地区の概要

上之地区（埼玉県熊谷市）　都市再生整備計画事業の成果概要

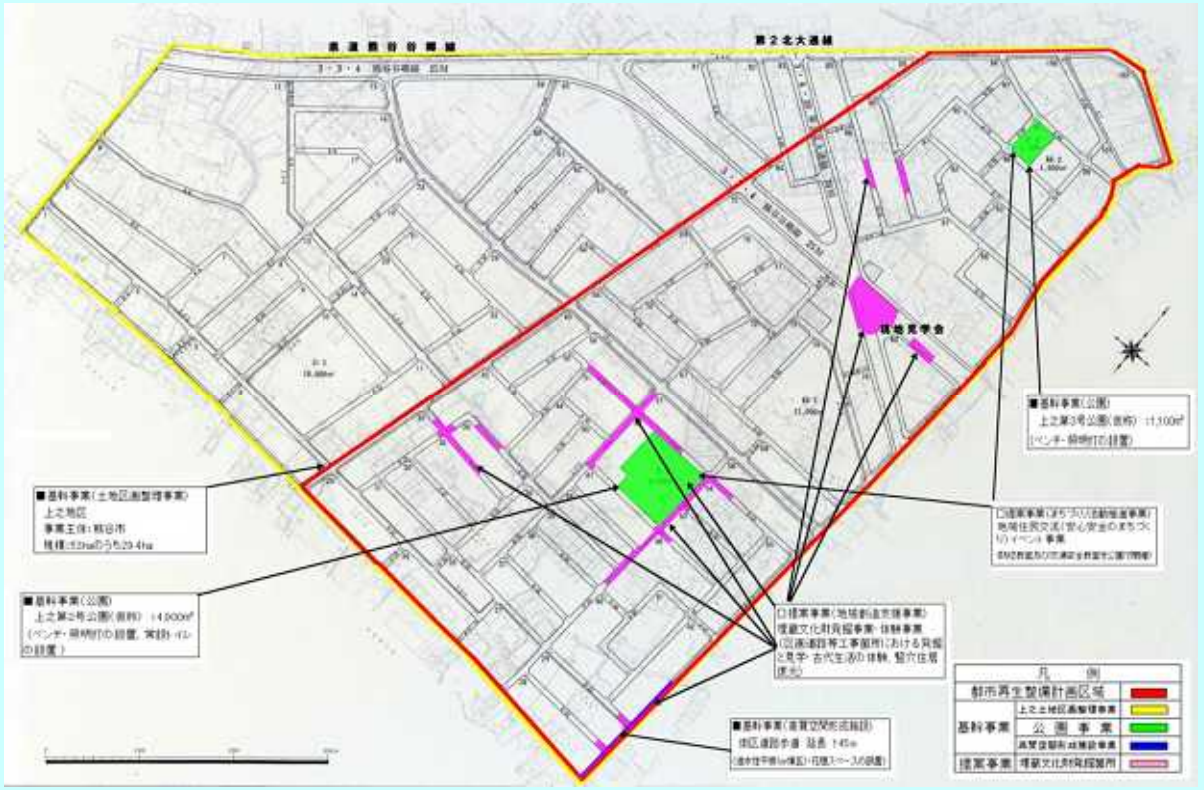
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：住宅環境の整備改善と文化財をもとに地域交流を深め、快適で安心して暮らせるまちづくりを目指す。 目標1　排水設備、街路等の整備改善により、住環境の快適性と交通利便性の向上を図る。 目標2　街区公園の整備と歩道のグレードアップを行い、高質化空間の形成を図ることで、地域住民の生活の向上と災害時の一時避難場所の確保等、安心して暮らせるまちづくりを行う。 目標3　地域住民の交流を図り地域コミュニティを向上させるためのイベント等を開催し、安心安全と歴史的雰囲気の漂うまちづくりを行う。	居住者数	単位：人	1,200	H18	1,400	H22	1,305	H22
	1人当たり公園面積	単位：㎡/人	0	H18	4.3	H22	0.8	H22
	まちづくりイベント参加者数	単位：人	0	H18	400	H22	60	H22
	埋蔵文化財発掘体験事業参加者数	単位：人	0	H18	700	H22	1,125	H22
	宅地として利用可能な土地面積割合	単位：%	43.0	H5			48.5	H22
	地域住民のための多目的空間の確保に対する満足度	単位：%	—	—			71.7	H22
	建築行為等許可申請件数（年間平均）	単位：件	3.3	H17			7.0	H22



提案事業（地域創造支援事業）



提案事業（まちづくり活動推進事業）





基幹事業（公園）



基幹事業（高質空間形成施設）

まちの課題の変化	土地区画整理事業や高質空間形成施設等の事業に取り組むことにより、住環境の向上が図られるとともに、公園用地の確保や整備が進められ、イベント等を通じた住民同士の交流機会の確保や地域の歴史に触れる機会が創出され、指標の改善に貢献した。しかし、土地区画整理や高質空間形成施設、公園整備などは、一部区域において改善にある程度貢献した程度であり、残りの区域についても、早急に事業に取り組むことで、指標の達成を図る必要がある。また新たに、公園整備の方向性やまちづくりイベントの開催方法等について、地域の状況を見ながら検討していくことが必要となっている。
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	・宅地として利用可能な土地の確保をさらに進めると同時に、住環境のさらなる向上に向けて、地域との緑化協定の締結を進めていく。 ・さらに住民の安全性確保に向けて、付帯施設である照明灯の設置などの検討を行う。 ・住民との協働により、公園や街路等の整備や公共施設の有効利用について検討し、地域の安心安全の向上、住民間の交流を促進していく。 ・街路整備を行った区域の他にも、交通危険個所について早急に改善に取り組む。 ・住民意見を踏まえた公園整備の方向性を検討する。